



2019.12.9 いじめを考える人権集会



発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)

12月号



奈良少年刑務所にいた少年が、こんな詩を書いた。

言葉 (タイトル)

「いいんだよ」
「がんばったね」
「よくやった」

この言葉がほしい
この言葉が ボクを幸せにする

「お前はアカン」
「でき悪い」

「お前はいらぬ」
この言葉は いらぬ

2019.12.23

言葉

* 立ち上げれ自分！

校長 都筑 祐一



この言葉は ボクを不幸にする

嫌な言葉を言われると 自信をなくし

自分自身が嫌になる

好きな言葉を言われたくて 行動し

ボクは ボクを見失う

一つ一つの言葉が ボクを造る

一つ一つの言葉が ボクを壊す

この詩は、寮三千子さんの著書、「あふれでたのは やさしさだった」にある。

寮さんは、奈良少年刑務所に10年間勤務した。絵本と詩の授業で、少

年たちの更生に力を注いだ。

私は、改めて思った。生まれつき悪い人間なんていない。

実はこの詩を書いた少年は、外から見れば何不自由ない、恵まれた家庭で育った。そして、ある時期まで親の期待に比べて成績もよく、礼儀正しく、すくすく育った理想のいい子だった。

そんな彼が刑務所に入った。どんな罪を犯したのか、それはわからない。しかし、それに及ぶまでの彼の苦悩が詩の中にあふれ出る。

彼を壊したのは、存在を否定する言葉と、自分がいい子でい続けることの苦しきだった。

好きな言葉を言われたくて 行動し
ボクは ボクを見失う

この言葉が私の胸に突き刺さる。私にも娘が2人いる。果たして親としての私はどうであったか。思い起こせば、行き過ぎた言葉や傷つける言葉もきつとあった。

12月9日、いじめを考える人権集会を行った。そのなかで保護者の皆さんからいただいた愛のメッセージがスクリーンいっぱい広がった。「元気でいてくれる。それだけで幸せです」「大丈夫！まわり道も悪くないね」

生徒たちのなかに、涙を浮かべながら見つめる姿があった。



いじめを考える 人権集会

あおいMAXⅡ

十二月九日(月)いじめを考える人権集会を行いました。今年、朝日新聞に掲載された、モデル・タレントの鈴木奈々さんのいじめに関する記事をもとに、全校生徒でいじめについて話し合いました。



この話し合
いで、いじ
めの傍観者
にならず、
友達に寄り
添うやさし
さが育った
のではない
かと感じま
した。

傍観者について

一年四組

今回のあおいMAXでは、いじめについて話し合いました。その中でいじめの傍観者の話が出ました。僕は傍観者は悪いと思います。いじめられている子を救うことができるのに、救おうとせずに見ているからです。話し合いでは、傍観者について、いろいろな意見があり、たくさんのことを考えました。

今回のあおいMAXでは、たくさんの人の意見を聞いて、普段以上にいじ

めについて深く考えることができたので、とても有意義な時間になったと思います。

見ているだけ

二年三組

今回の人権集会では、傍観者について深く話し合うことができました。自分の中でも、いじめはまだ他人事のような感覚がありました。でも、話し合いをする中で、いじめの傍観者にも責任があるのではないかと思いました。見ているだけでは、何も解決しないし、いじめの雰囲気を知らず知らずのうちに作ってしまっているのだと感じるようにもなりました。今、いじめを見ているだけの傍観者になっている人は、少し勇気をもって解決するためにできることを見つけ、行動することが大切だと思います。

いじめにどう思う

三年一組

僕は人権集会を通して、改めていじめについて考えることができました。いじめがもし起きてしまったら、相手の立場になって自分に何ができるかを考え、行動することが大切であると実感しました。傍観者の中には助けたいと思っている子もいるはずですが、一人がいじめに対する考えをもち、勇気を出して行動することはいじめをなくすことができると思います。いじめられている子に声を掛けて寄り添ってあげられるなどできることは様々です。

人権集会で学んだことを生かし、これからも相手の気持ちを考えて、支えてあげられるようにしていきたいです。

二学期の振り返り

団結力が深まった二学期

一年六組

二学期、特に印象に残っているのは、体育大会と文化祭です。

体育大会の『夢おどる』では、最初はずべてを踊れる気がしませんでした。が、友達や他のクラスの仲間とも互いに教え合う中で、だんだんと上達しました。さらに学年の輪も広がりました。体育大会当日、不安がありました。が、音楽が流れて全力で走り始めたとき、「やってやろうじゃんか」と思えて、その後、全力で踊ることができました。二百五十一人で一つの『夢おどる』を作ることができました。

合唱コンクール。合唱曲を決めるときは、『空駆ける天馬』にあまり乗り気ではない子が半分以上いました。しかし、練習や話し合いを重ねていく中でみんなのやる気が高まってきて、い歌を自分たちで作らあげようと、みんなが意見を言うようになりました。歌の練習中は、つまずいたり間違えたりすることがよくありましたが、その時には、友達が教えてくれたり、カバーしてくれたりしました。

当日は、不安とワクワクの気持ちがあが混じって、とても変な感じでした。

しかし、みんなで歌ってみると、今までいけばいい合唱ができ、忘れられない思い出になりました。

二学期は体育大会や文化祭を通して、クラスや学年の団結が深まりました。

三学期は、最高の状態で二年生のスタートを切れるよう、学年の団結をさらに深めていきたいです。

成長の二学期

二年二組

この二学期は多くの行事があり、たくさん成長することができました。

僕がいちばん成長できたと思う行事は、文化祭です。合唱コンクールでは、クラス一丸となり、最優秀賞という一つの目標に向かって努力することができました。級長としてクラスのみんなに声をかけようと努力しました。みんなで頑張ることができ、最高の文化祭になりました。

部活動では新人戦と西三大会がありました。新人戦では惜しくも準優勝という結果に終わりましたが、西三大会でその相手に勝つことができました。負けた悔しさをばねにして練習し、勝ったことで、すぐ成長できたと思いました。

また、三学期にはスキー研修があります。スキー研修でも一人一人が活躍し成長できる場がたくさんあるので、自分からいろいろなことに挑戦していきたいです。

一学期を振り返って

三年一組

私がこの二学期に心に残ったことの一つに文化祭があります。合唱コンクールに向けて、クラスみんなで努力してきました。時にはうまくいかないこともあり、そのようなときにはみんなで意見を出し合いました。合唱のポイントや練習の仕方の改善点を見つけ、よりよい歌になるように、日々の練習に励みました。そうした中で、クラスの思いが一つになっていくのを実感しました。その結果、最優秀賞を勝ち取ることができました。合唱コンクールを通して、仲間を信じ合うことや一つの目標に向かって全員が団結することの大切さを改めて学びました。

また、後期から級長という立場になって、より一層クラスのみなが楽しく生活できるように積極的に行動しようと思掛けるようになりました。最初はなかなかうまく行動に移せず、自信のなさや不安がありました。しかし、支えてくれる仲間の協力もあり、今では級長の立場にやりがいを感じ、さらにクラスをよくしていきたいという思いが湧いてきました。

冬休み明けの三学期は、三年生にとって残り少ない中学校生活となります。受験という大きなハードルを乗り越えるためにも、日々の学習に努め、自分の将来に向けての第一歩がよりよいものとなるように頑張っていきたいです。そして、卒業まで残り三十八日の学校生活でも、仲間や先生たちとの

絆を大切にして、たくさんの思い出を作っていきたいです。

頑張ったこと

開発二年

僕が二学期に、特に頑張ったことが二つあります。

一つ目は体育大会の「黒船太鼓」です。リズムよく上手にたたけるか不安でいっぱいでした。しかし、僕なりにみんなと一生懸命に取り組み、困難と向き合って成果を上げることができて自信ができました。



二つ目は文化祭でのギンナンプロジェクトです。ギンナンの収穫、選定、皮むきと商品にするまでの作業も大変だったけれど、商品化する過程の勉強ができた

ことがよかったです。ギンナンがあったという間に完売できたのはみんなが協力したからだと思えます。この経験を忘れずにこれからの生活に生かしていきたいです。

表彰の記録



西三バスケット新人大会

バスケットボール部男子

西三強化選考会(50kg級)

優勝

優勝

三位

県新人陸上大会(一年一〇〇m)

八位

コンスポ杯

テニス部女子

三位

環境ポスターコンクール

優秀賞

愛知県スキー連盟アルペン部

強化指定Y選手

愛知県陸上競技協会

強化指定選手

愛知県柔道連盟東海ブロック

強化指定選手

一月の予定



七日(火) 始業式 書き初め会

八日(水) 岡崎学力検査

給食開始 委員会

校内書き初め展(一・二日)

三年総合テスト範囲発表

三年技能教科記述テスト

三年技能教科記述テスト

授業参観(一・三年)

スキー研修説明会(二年)

成人の日

生徒集会

一六日(木) 三年総合テスト一日目

一七日(金) 三年総合テスト二日目

一八日(土) 市書き初め展(一・二日)

一九日(日) 市民駅伝

二〇日(月) 授業参観代休日

二一日(火) 月曜授業・ひまわりP

二二日(水) 全校集会

二三日(木) 二年スキー研修(一・二日)

二四日(金) 二年学年休業日

葵が丘

心配事は縦に並べろ

三年学年主任 波江野 寛之

二学期は登校日数がいけばも多く、目標に集中できる学期でしたが、体育大会をはじめとして、新人戦、文化祭、長距離走大会等、いろいろな行事が目白押し。の学期でもありました。二学期は、いくつものことを同時に処理していく能力が要求される学期でもありました。集中して学習するためには、極めて環境が悪いように思えますが、本当はこういう状態の中でこそ、本物の学力が身に付くものだと思います。

昔から「心配事は縦に並べろ」と言う言葉があります。二学期はまさに、心配事(課題)を縦に並べて一つずつ解決していく姿勢が必要でした。あの有名な宮本武蔵は、大勢の敵を向こうに回し、一度も負けませんでした。それは、常に一斉には打ちかかれられないような狭い小道に敵を誘い込んで戦ったという知恵があったからだと言われています。

人間というものは、どんな困難な状況の中でも、本気でやればそれを克服し、自分のものにしようとする素晴らしい能力を本来もっています。本気でやればたいていのができます。本気でやればなんでもおもしろい。本気でやると誰かが助けてくれます。

三学期は、「自分を鍛えるチャンス」と受け止め、特に三年生は鍛え上げた学力で入試に挑んでほしいと願っています。

葵中生に贈る愛のメッセージ

今年も、たくさんの保護者の皆さんから「葵中生に贈る愛のメッセージ」をいただきました。ここに原文のまま紹介させていただきます。皆さんの我が子や葵中生を温かく見守り、応援する気持ちが、このメッセージからしっかりと伝わってきました。

十二月九日に行った、いじめを考える人権集会の中で、子供たちにメッセージのいくつかを紹介しました。思いやりのある、優しい葵中生を育て一助になったと、確信しています。皆さんのご協力に心から感謝します。本当にありがとうございます。

(校長)

■一年生保護者のメッセージ

- いい男になった。まだまだ良くなるよ。
- いつでも応援しているし、信じているからね。もっと自信をもっているよ。
- あなた自身に自信をもって。私たちは、あなたの応援団。
- 自分を大切にできない人は、友達も大切にできない。だから自分を大切にできる人になってね。
- 大丈夫、あなたの傍にちゃんという。光に向かって進め。
- 今この時を思いっきり楽しみ、そして学びなさい。大人時代は遥かに長い。
- やさしい葵中のあなたたち、いつまでもその心を忘れないでね。
- 仲間も自分も大切に、頑張っているあなたに少しだけ寄り添わせてね。
- 人と違っていい。あなたの事をちゃんと見ているよ。
- 把手共行……ステキな仲間との出会いを大事にしてください。
- 弱点はあなたの最大の魅力です。
- どんな事も、一生懸命に取り組むあなた、素敵です。
- あなたのとおりには、いつも家族がいるよ。
- ひとつひとつの出会いを大切に。
- うざいって言われても大好きなんだから、これからもうざい程愛すよ。
- どんなときも一生懸命で、真剣で、がんばるあなた。そんなあなたは私の自慢だよ。

- 心も身体も人生で一番成長できる今、全てに精一杯取り組み！
- どんな人の精一杯も美しいよね。
- 相手の気持ちになり、考えて行動できる人になってほしい。
- たくさんの人に出会い、一人一人を尊重し、人とのつながりを大切にしてください。

- あなたがいるから頑張れる。人の痛みの分かる人になってね。
- あなたとみんなの笑顔がずっと続きますように。
- その笑顔、みんなを幸せにしてくれるよ。
- 他人から何か言われても、自分だけの道を歩こう。
- わがまま、イライラ、ウキウキ、全部受けとめるよ。
- 一緒にいてくれてありがとう。まだまだあなたの成長を見守らせて下さい。
- いつでも、どんなときも、ずっとあなたの味方だよ。
- あなたの思いやり、大切な仲間へ届けよう！
- 相手の気持ちを考える、思いやりの心をもつ人になってね。
- あなたたちが出会った全ての人が幸せになれる様に考えて行動しなさい。
- ともだちを思いやる「あい」が有るように、全生徒に「あい」が有るように。
- 私たちが、いつも助けてくれるあなたは優しい子だね。
- 努力は人を裏切らない。自分を信じていけば結果がついてくるよ。
- あなたの進む道が険しくとも、前進あるのみ。
- あなたが存在するだけで、周りのみんなは幸せです。
- 我が親愛なる娘へ。いつも、笑顔でがんばっている姿に尊敬します。自分を大切にし、友達の心も気遣う年頃になったのかと感心と勇気をもらっている日々です。ありがとう。大好きです。
- 困った時や、辛い時にSOSを発信するのは、はずかしいことじゃないんだよ。
- 前を向いて進んで行こう。後ろで見守っているよ。
- 幼かった男の子が、すっかりとたくましい男の子に。家族の頼れる存在に成長したネ。
- 伝えてみよう。自分の気持ちを。寄り添ってみよう。相手の気持ちに。
- 「今が全てではない」「配られたカードで勝負するっきゃないのさ。それがどういう意味であれ。(スヌーピー)」
- 反抗期、大丈夫、私の頃より大分まし。
- 今はツライけど、必ず楽しい時は来るよ。

■二年生保護者のメッセージ

- いつも頑張っているね。しっかり見守っているからね。
- あなたの優しさに救われる人がいる。私もその一人。
- 人に優しく、自分を大切に生きてください。
- 楽しいことは気が向いたら話してくれるだけでいいけれど、辛いことがある時は、必ず相談してね。
- どんな決断でも、全力で支えるよ。
- どんな困難も乗り越えられる強い心を持った人になってね。あなたならできる!
- 素直で優しいあなたが大好きだよ。
- 苦手な人がいてもいい。でも、人を嫌いになっちゃダメだよ。
- 「ママ、笑ってる顔が好き」と言ってくれる貴女が私の全て。
- 大丈夫。あなたは確実に成長してるから、自信持ていいよ。
- 自分がされて嫌なことは人にしないよね。
- 地味に地道に。謙虚さ、感謝の気持ち忘れない。
- 一日一度は「ありがとう」と言ってみて! 言われた相手の顔を見たら、きっとあなたも幸せな気持ちになるはずだから。
- 今の時代、君たちの時代を楽しんでほしい。いつでも見守っています。
- 毎日がんばっているの、ちゃんと見てますよ。笑顔がとても素敵だよ。
- あなたには、この先たくさんの幸せがやってくると思うの。だから、スマホにとらわれないで。自分の生活をしっかり見て、幸せに感謝して生きてほしいの。
- みんな笑顔をつなぐ葵中生。
- 元気でいてくれる。それだけで幸せです。
- 泣きたければ泣けばいい。辛くなったら逃げたっていい。あなたの味方はたくさんいます。
- 何があっても幸せな日々が、これからたくさんありますように。

■三年生保護者のメッセージ

- いい男になった。感謝してます。
- キラキラした目をしたあなたが眩しくて誇りに思ってます。
- New day comest! You're gonna be cooler than yesterday. You can change History, not in the cyber or artificial way. You're gonna be

cuter than yesterday. You don't need categories. Fly away from your memories. Be free!!

- 努力する凡才のことを天才っていうらしいよ。やりたいことは、どこまでも続けてみると天才になれるものかもしれないよ。
- きっと大丈夫。まわり道もたまには悪くないよね。
- そのままでもいいよ。その笑顔を見守っているね。
- 自分の命よりも大切なものに出逢いました。あなたが生まれたあの日から。ありがとう。
- 口うるさいとしか伝わらない:母の愛。あなたが心配だからだよ。
- 何事にも負けない精神力をもってください。
- 顔を上げて前を向いてごらん。みんながいるよ。
- あなたの笑顔は、この世の宝物。
- 何でもやってごらん。全力でおうえんします!
- 未来の君は、今の君を誇りに思うはず。
- これから自立していく君を、見守っています。
- 君の笑顔が、みんなを照らす太陽だよ。
- 子どもには素直に言えない「ありがとう」。
- 君が居る。それで家族が支えられている。
- 悩んだ分だけ強くなれるよ。
- ずっとあなたの味方だよ。だから、あなたの思うように、正しいと思えることを行動にうつしてね。
- 画面越しの会話より、目を見て会話した方が気持ちは届くよ。
- 今頑張っていることが未来につながるよ。応援してるよ。
- 葵中生の特技はあいさつ上手! 勇気がある、でもやれる。本当に立派です。あなたたちのおかげで、心がとても温かくなります。ありがとう♡
- あなたの笑顔は何よりの宝物。いつだってその笑顔を守るから安心していてね。
- いじめられた人は、心に傷を負い、いじめた側は罪悪感がマヒし、心に欠陥が生じる。どちらもいい事なんて一つもない。どうか、自分を大切に。後悔のない人生を。
- 相手の気持ちを考えられる、やさしい子でいてください。
- 自分の心を大切にすることから、人を思いやることができるんだよ。
- 大丈夫! 何があっても親は子供の味方だよ。



- 笑ったり、泣いたり、感動したり、全力でがんばっている姿、ステキだよ♡
- あなたが笑ってくれるだけで、私はとてつもなくうれしい。その笑顔が私の活力の源。
- 嘘はつかない。素直に正直に…。
- あなたたちの笑顔は、ダイヤモンド以上の輝き☆
- どんな時も笑顔を絶やさず、周りの人を幸せにしてあげてね。
- 私はいつでもあなたの味方だよ。

葵中生おすすめの本



図書委員会では、「葵中生のおすすめの本」として、本の紹介カードを全校で作成する企画を行いました。その中で、図書委員が特に読んでみたい！と感じた本を紹介しました。興味をもった本があれば、冬休みや二学期に、ぜひ手に取って読んでみてください。読書は心を耕し、情緒力を育む機会になりますよ。

(図書委員会担当) 次井祥太

○『あと少し、もう少し』／瀬尾 まいこ

陸上部の名物顧問が異動となり、代わりにやってきたのは頼りない美術教師。部長の柘井は、中学最後の駅伝に向けてメンバーを募り練習を始めるが……。寄せ集めの六人が一つの方向に向かってまとまるところに共感できます。あと少し、もう少し、みんなと走りたい。読んだ後、仲間の大切さに気付ける一冊です。(片岡美羽)

○『アンネ・フランク』／アンネ・フランク

第二次世界大戦のとき、ヒトラー率いるナチスドイツがユダヤ人を迫害する中で生き延びた人の話です。迫害と差別に負けず、未来への希望を失わなかった少女、アンネ。人はどうして仲良くなれないんだろう。なぜ戦争するのか。アンネ・フランクが考えた言葉は今の時代にもなお当てはまると思っています。ぜひこの本で考えてみてください。(長崎春媛)

○『ハリー・ポッターと賢者の石』／J・k・ローリング

主人公のハリーが友達と一緒に次々と試練を乗り越えていくので、ドキドキが止まりません。読書嫌いの私でも面白くて読み進めてしまう本です。皆さんもぜひ読んでみてください。私の一番好きな呪文は「ルーモス(光よ)」です。(野村果鈴)

○『まじっく快斗1412』／浜崎達也

この本の主人公は、マジック好きの高校生・黒羽快斗。快斗の父親は、天才マジシャンでした。また、世界的な大泥棒「怪盗キッド」という裏の顔をもっていました。しかし父親は、マジック中に事故で他界してしまいました。ですが、快斗は父は何者かに殺害されたと思うようになります。その疑惑に挑むべく、父親の跡を継いで「怪盗キッド」になるのです。また「名探偵コナン」の永遠のライバル「怪盗キッド」に秘められた謎がいま、明かされます。コナンを知っている人も、知らない人も、怪盗キッドを知らない人も、知っている人も、ぜひ読んでみてください。

○『五分後に恋の始末〜春が来たなら泣くかもしれない〜』／橋つばさ

この本は短編集で、一つの話がおおよそ五分で読めるものとなっているので、さくさく読み進められます。他にも『五分後シリーズ』が人気で、『五分後に意外な結末』や『五分後に思わず涙』などが人気です。たまに出てくる、かとうれいさんの絵もかわいしいし色もやわらかいので、そこも注目です!! 葵中の図書室にもあるので、ぜひ読んでみてください!! (中山璃虹)

○『暗号クラブ』／ペニーワナー 著

暗号を解いた先には……また暗号! 次々と出てくる暗号を解いていき、隠された秘密に迫っていく物語です。四人で作られた暗号クラブ。四人で力を合わせてすべての暗号を解読することはできるのか。何度もピンチが襲う中、あきらめない四人の先には……。ぜひ読んでみてください!! (安井彩乃)

○『覚悟はいいか その女子。』／椎葉ナナ

ヘタレ男子が、本気の恋をする! 愛され系男子、古谷斗和は友人に彼女が

できたのをきっかけに自分も彼女を作ると宣言する。手始めに校内で高嶺の花とうわさされる三輪美苑に告白するが美苑は斗和の告白を冷たく断った。

よく知らない女子に安易に告白して見事に振られた斗和だが、それ以来、美苑のことが気になってしまふ。美苑のやさしさを知った斗和は、少しずつ本当に美苑にひかれていつて……!? (清水美羽)

○『サッカーボーイズ』／はらだみずき

人気青春スポーツ小説シリーズ！サッカーを通して、迷い、傷つき、悩み、成長していく主人公とその仲間たちの姿がとてもリアルに描かれていて、読めばきつと胸が熱くなる、そんな一冊だと思います！ (真鍋駿汰)

○『一分間だけ』／原田マハ

一分という短い時間で、自分にできることを深く考えさせられます。犬を飼っている人にはぜひ読んでほしいです。

仕事や人間関係がうまくいなくなってしまう主人公は、飼い犬のリラにたびたびあたってしまうことがあります。そんなリラが突然ガンと宣告されて……。

この話は、大切な人と一分、一秒でも長く一緒にいたいと思えます。ぜひ読んでみてください！ (甲斐梨央奈)

○『夜のピクニック』／恩田 陸 第二回 本屋大賞受賞作

高校生活最後を飾るイベント「歩行祭」。全校生徒が夜を徹して80キロ歩き通すという伝統行事だった。

主人公の甲田貴子は、「密かな誓い」を胸に抱いて、学校生活の思い出や卒業後の夢を語りながら親友たちと歩きつづける物語です。

泣けます！ ぜひ読んでみてください！ (松浦莉子)

○『君の臍臓を食べたい』／佳野よる

主人公である「僕」が病院で偶然拾った一冊の文庫『其病文庫』。そこにはクラスメイトの山内桜良の綴っていた秘密の日常があった。「僕」は本の中身を興味本意で覗いたことにより、唯一彼女の病気と余命を知る人物となる。そして二人は次第に心を通わせながら惹かれていく……。しかし、彼女は余命を全うすることなく……。 (磯部 航)

○『犬たちを送る日』／今西乃子

この命、灰になるために生まれてきたんじゃない。野良犬を捕まえて持っていくと愛護センターからお金がもらえます。でも、その犬は殺され灰になります。命を犠牲にしてまでそんなにお金が欲しいのか……。殺される犬

が少なくなるような社会を目指し命の大切さが改めて分かる一冊です!! (今原希歩)

○『世界がもしも1000人の村だったら』／池田香代子 c・ダグラス・ミフス

この本は私たちが考えもしないようなことがたくさん書かれています。世界には六十三億人の人がいます。でも、その六十三億人の人を百人にしてみたらどうなるのか? ということ。

そして、この本で心に残った文は、「自分自身を大切に、今、自分の住んでいる場所を大切にしてほしい。生きていることも……」という文です。

○『まさかの!?ばくちX怪盗レッドコラボ!!VRパークで危機一髪!の巻』

ある日アスカたちはUFパークのことで落ちこんでいた実咲たちをVRテーマパークへつれていくことに。アスカたちはRPGゲーム・ソイで遊ぶが、そこにはシステムをダウンするウイルスが！アスカとケイがウイルスに立ち向かう！B国からやってきた王女さまが日本に来てしまった！さらに、その王女は命をねらわれていた！どうする？英治(えいじ)たち！やつらが同じ日に遊園地に来たら、何も起きないわけがない！ (石橋佑絆)

○『斜陽』／太宰治

戦後間もない頃の貴族の没落していく姿がきれいな風景とともに感じられる作品で、太宰治の表現技法もたくさん使われている作品です。 (山崎倅太郎)

○『さざなみのよる』／木血泉

「おんばざらだるまきりくそわか」この謎の言葉は何でしょうか？本を読むとわかりますよ！この本は、小国ナスミという、がんになった女性とその家族の話です。ナスミという強い女性に、周りのものは勇気づけられます。小国ナスミは死んでも、周りを変えられる力に感動しました。 (岩井美香)

○『羊と鋼の森』／宮下奈都

二〇一五年に直木賞と二〇一六年に本屋大賞など受賞し、映画にもなった面白い小説です。ピアノを通して、たくさんの人と出会い、学んでいく青年を描いた物語です。

「才能ってというのはさ、ものすごく好きだっという気持ちなんじゃないか。どんなことがあってもそれから離れない執念とか闘志とか、そういうものと似ている何か。」

つい、夢中になってしまふ小説です。ぜひ、読んでみてください。

(坂口 蓬)

○『そして誰もいなくなった』／アガサ・クリステイ

この物語は、十人の男女が偽の口実でデヴォンの孤島に呼びだされます。しかし、最初の夜、どこからともなく録音の音が流れ、そこに集まった人々全員が過去において殺人を犯したといひます。しかし、それは、目撃者がいなかったため過失致死や自殺などで片付けられたものでした。このまま週末を楽しく過ごせると思っていた矢先、呼びだされていた人々のうち一人が不自然な死をとげます。残った九人は、「自殺だろ……」と思っていましたが、一人また一人と、どんどん殺人が起こってしまいます。この本の怖いところは、十体あった陶器の人形が、殺人が起こるたびに一つまた一つと消えていくところや、額に入れられた古い童謡の歌詞通りに人が死んでしまい、最後には……。

とても怖い物語ですが、読み進めていくとおもしろさがあります。ぜひ読んでみてください。(榎原由羅)

○『吹部』／赤澤竜也

コンクールの予選の結果発表の場面です。結果が発表されて、みんなが泣いて、男女関係なく抱き合ったところが感動して、ちゃんと練習をしてれば、「本気で泣ける」ということも分かりました。吹奏楽部の人はもちろん共感できる場所があると思ひますが、他の部活の人にもいろんなことが学べる本だと思ひます。(松原衣咲)

○『ラプласの魔女』／東野圭吾

未来を完全予知できるラプラスの魔女と二つの不可解な死亡事故を巡る進化型ミステリーです。予想だにしない展開が待ち受けていてとても面白いです。次々と明らかになる真相に、ページをめくる手が止まりません！

(森本愛理)

○『嫌われる勇気』／岸見一郎・古賀史健

文人生の劇薬 もう一つの心理学―フロイト・ユングに並ぶ、もう一つの心理学、「アドラー」の導き出した考えに迫る本……。人はいま、この瞬間から誰でも絶対「幸せ」になることができる。「幸せになる勇気」も読んでみて下さい！(奥谷奈央)

○『ライ麦畑でつかまえて』／サリンジャー 野崎考訳

「僕みたいにいひどい嘘つきには、君も生まれてから会ったことがないだろう。」

高校を退学になった青年ホールデンの約一週間におよぶ小さな旅の物語。

独特な言い回しが多く、読んでいるうちに癖になる不思議な魅力をもっています。愛、金、学び、家族……たくさんのことを考えさせられる、すばらしい作品です。

「ライ麦畑のつかまえて役、そういったものに僕はなりたいたんだよ。馬鹿げてることは知ってるよ。でもほんとにになりたいものといったら、それしかないね。馬鹿げてることは知ってるけどさ。」(水野瑩音)

○『あやしい彼女』／豊田美加

二〇一六年に大ヒットした映画をリメイク。笑い×歌、で魅せる、コメディのような小説です。

七十三歳の瀬山カツは、歩けば毒舌をはき、トラブルばかり引き起こす厄介者。

ある日、写真館で写真を撮ると二十歳の自分の姿に変身してしまいます。節子と名前を変えて新しい人生を楽しみ、大好きな歌と一緒に生きていくところが心に残りました。笑いあり！涙あり！おもしろいのでおすすめですよ。

(梶山佳梨)

○『未来の年表』／河合雅司

今後の日本に「少子高齢化」という大きな問題があります。それによる多くの危険に向けての対策や「高齢者が増えるとスズメバチが増える！」というような一見おかしな文章に惹かれました。この本を通して日本の未来が面白く理解できたり、楽しく考えたりすることのできるおすすめの本です。

(岩本昇馬)

※図書紹介カードを書いてくれた生徒を調べましたが、わからなかったものについては無記名で載せさせていただきました。

